

第 8 期（2018 年度）日本図書館協会認定司書審査会第 2 回議事録

2018 年 1 月 20 日（土）

13：30～17：00

公益社団法人日本図書館協会
審査会委員 7 名出席、事業委員会委員 5 名陪席

配布資料

資料 1 日本図書館協会認定司書審査会、日本図書館協会認定司書事業委員会

資料 2 第 8 期(2018 年度)日本図書館協会認定司書審査会第 1 回議事録（公開用記録）

資料 2 参考資料 同（委員会事務用記録）

資料 3 日本図書館協会認定司書審査規程

資料 4 日本図書館協会認定司書審査内規

資料 5 第 8 期日本図書館協会認定司書事業スケジュール

資料 6 申請書類の受付状況について、審査料の入金状況について

資料 7 認定司書事業委員会への委嘱事務

資料 8 審査会委員割り当て表

資料 9 審査の手順

資料 9 参考資料 過去の認定審査における 2 条図書館相当施設および 2 条図書館以外の図書館若しくは他の
類縁機関の判断について

資料 10 審査結果（審査会委員記入用）【見本】

資料 11 判定参考資料

資料 12 日本図書館協会認定司書審査の審査結果について、日本図書館協会認定司書審査の認定料の振込み
について（認定者用）

資料 13 日本図書館協会認定司書審査の審査結果について（非認定者用）

資料 14 第 8 期日本図書館協会認定司書候補者の推薦について

資料 15-1 日本図書館協会認定司書審査規程 改正案

資料 15-2 同 新旧対照表

資料 16-1 認定の抹消について

資料 16-2 同 抹消の申出

参考資料 L-1 グランプリ 2010、社会福祉法人視覚障害者支援総合センターチャレンジ賞、日本中央競馬会図
書室、角川日本文化図書資料館

*資料 8～11、16-1～16-2 および参考資料は会議終了後回収

1 審査会会長あいさつ

認定司書が 120 名を超えた。3 月の代議員選挙の立候補者も認定司書が多い。
速やかに審査するようお願いしたい。

2 議事録確認

大谷委員が議事録について確認した。

気づいた点があれば、1 週間程度を目安に、事業委員会或いは事務局にお知らせいただ

きたい。

3 報告事項

(1) 日本図書館協会認定司書事業スケジュールについて（資料 5）

大谷委員が報告を行い、了承された。

(2) 申請書類の受付状況及び審査料の入金状況について（資料 6）

大谷委員が報告を行い、了承された。

(3) その他

大谷委員より、今回審査の対象となった方で、目の不自由な方がおり、特別な配慮が必要であった、との報告があった。

大谷委員より、図書館大会分科会報告、JLA 神奈川の集い、図書館総合展ポスターセッションについて報告があった。

4 審査

(1) 審査手順説明（資料 8～10）

大谷委員より、審査手順について説明した。各申請者に対して無作為抽出される 3 人の審査委員が審査を行い、その審査結果により認定の決定を行う。その審査結果により認定の決定を行う。

(2) 審査（資料 11）

今回申請のあった 17 名について、審査手順の説明に基づく審査を行った。

(3) 協議

判定の分かれた申請者について、審査会委員全員であらためて協議し、認定の可否を決定した。

・著作について

5 協議事項

(1) 議案 1 認定司書審査の判定

審査の協議を踏まえて、認定司書候補として 15 名を認定した。

なお、認定の協議に際して、委員の総意として、

- ・学術的であっても、図書館に関係していないもの
- ・データを羅列しているだけのもの
- ・単純なテープおこしとなっているもの

については、「著作」とは認めないことを確認した。

(2) 議案 2 認定司書申請者の審査結果等通知と常任理事会への報告について（資料 12、

資料 13、資料 14)

議案 1 に基づき、資料 14 の通り 15 名を認定司書候補者として常任理事会に報告する。認定者には資料 12、非認定者に対して資料 13 を送付する。なお、資料 13 の審査結果の総括、および資料 14 の選考経過については、審査会長と事業委員会委員長で作成・協議するので、文面についてはご一任いただきたい。

(3) 議案 3 日本図書館協会認定司書審査規程の改正について (資料 15-1、資料 15-2)

認定司書の抹消の取り扱いおよび取り消し要件に関する規程の改正について、大谷委員が説明し、「案 2」が了承された。

(4) 議案 4 認定司書の抹消について (資料 16-1、資料 16-2)

大谷委員が説明し、了承された。

3 月の理事会で規程改正を行い、その次の理事会で抹消をする。

6 その他

以下の点について議論があった。

(1) 文書の保管場所不足に伴う資料のデジタル化について

大谷委員から、予備審査の時の資料が、段ボール箱に 3 箱保管されている。デジタル化して、原本を廃棄してはどうかとの提案があった。今後も検討することになった。

(2) 障害者に対する合理的配慮について

大谷委員から、今回の申請者の中で、合理的な配慮が必要な方があった。どのように対応するのか、議論をお願いしたいとの提案があった。当面は個別に対応し、ある程度蓄積ができてから、対処することになった。

(3) 審査会会長について

西野審査会会長から、審査会会長を執行役員が行うことについて、外部から見て公平性に欠けおかしいと思われるのではないか、との発言があった。委員の一人ということなら良いと考える。次回審査会 (7 月) で提案したい。

(4) その他

糸賀委員から申請書の記入欄についての意見があり、大谷委員から今後検討する旨回答があった。

以上
17:00 終了